

設計要領（道路編）の適用及び改正にあたり

現行の設計要領は、昭和56年4月に「北陸地方建設局設計要領」として制定されたものであり、直近では令和2年4月に改訂が行われている。

今回の主な改訂点は、

第1章 道路設計一般

1. 道路事業のフローチャートについて昨今の事業の実施状況を踏まえ整理を行なった。また、実施内容の説明は各段階で実施する内容をより具体的に記載した。
2. 平面、縦断線形の設計緒元値の表下に誤用がないように積雪寒冷地域の最小曲線半径等に伴う片勾配の最大値に関する道路構造令の規定を追記した。

第2章 交差点設計

1. 関係図書の発行年月日の修正、廃版の削除を行った。

第3章 土工一般

1. 関係図書の発行年月日の修正を行った。

第4章 軟弱地盤対策

1. 関係図書の発行年月日の修正を行った。

第5章 道路構造物

1. 橋梁設計は、部分係数法導入に伴い「道路橋示方書」が改訂されているが、「道路土工-擁壁工指針」、「道路土工-カルバート工指針」は部分係数法に適合していないことから、旧版の「道路橋示方書（H24.3）」に準じる旨を明記した。また、雪荷重については北陸地方整備局独自の従来通りの考え方を明記した。
2. 関係図書の発行年月日の修正を行った。

第7章 グラウンドアンカー

1. 関係図書の発行年月日の修正を行った。

第8章 舗装

1. アスファルト、コンクリート舗装が同列で採否を検討できるよう、どのようなケースの時に、コンクリート舗装の検討を行うべきかを例示したフローチャートを作成。また、道路予備設計段階から検討を行っておく必要があることを明記した。

第9章 橋梁

1. 既設橋梁の補修・補強設計を行うにあたり、検討ケースに応じた適用すべき道路橋示方書等の基準書を追記した。
2. 橋梁関連の各種設計便覧等の改訂内容を踏まえ、道路橋示方書の補足となる項目や具体的な適用事例を追記した。

第10章 トンネル

1. 関係図書の発行年月日の修正等を行った。

第11章 防災工

1. 関係図書の発行年月日の修正等を行った。

第12章 交通安全施設

1. 自転車通行帯に関する道路構造令の改正（平成31年4月25日施行）を踏まえ、自転車通行空間整備の考え方について記載した。
2. 関係図書の発行年月日の修正等を行った。

第13章 電線共同溝・情報BOX

1. 関係図書の追加とそれに伴う解説文の修正を行った。

第14章 その他の施設

1. 除雪ステーションの配置計画、規模に関する解説文の修正を行った。また車庫参考図の新規掲載、薬剤庫参考図の更新を行った。

第15章 報告書作成の手引き(案)

1. 関係図書の追加及び発行年月日の修正を行った。

第16章 地質調査の手引き(案)

1. 関係図書の発行年月日の修正、廃版の削除を行った。

「設計要領（道路編）」とは、現場に即した設計運用の手助けとするものである。そのため、現場条件を十分把握したうえ、本要領の趣旨に沿った設計に活用されることを望むものである。

なお、使用にあたり気付いた点や疑問点等を担当窓口まで連絡をいただければ幸いである。